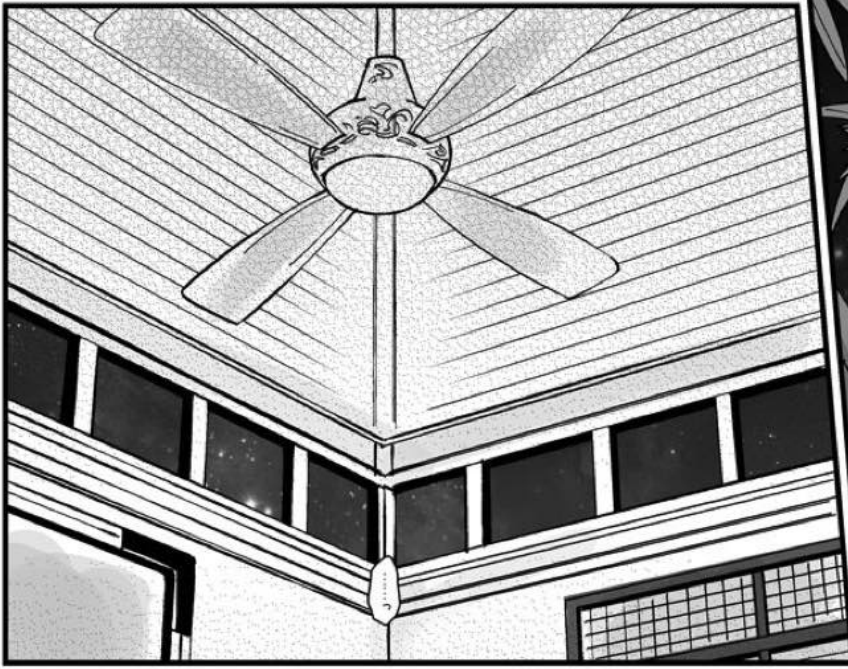


R18  
For Adult Only

団長殿には理解が出来ない

GranblueFantasy  
Unofficial fanfiction 4  
Percival×Gran  
2016 URA-URETHAN



お前は絶対に  
俺の家臣、いや右腕に  
なるべき存在なんだ

この夏の数日で  
確信を強めたが、

な…なに…を  
また…

あの酒だって  
そうだ

えっ

あ、あれは  
シエロの入荷した  
ものからまたまって  
言っ…

ああ、

何ヶ月も前から  
発注をかけていたものが  
「たまたま」ここで  
入荷したら嬉しいな？

すみ  
ません

流れで  
お話しちゃいま  
しました

…シエロ…!!

そんな健気な家臣に  
褒美をやりたいと思うのは  
当然だろう？

かつ

家臣じゃないから！  
今は僕が団長だから！

…そうか

では、親愛なる  
団長殿に

日頃の礼として  
奉仕を  
させて頂こうか

んなっ!?





声変わりの  
感じが

しかし

ヒッパ...



そつ扱つてもいも  
無いが

まっ...



こんな  
どこに触れても  
滑らかな

本当に、子供の

もう



もう

全部するんだから、  
こつちも準備、  
しちやいたい...



どうした？  
お気に召さなかったか？

そ...の口調  
やめ...



ああ...わかった



— それにしても









お前は



——好奇心と

健気さと

どこまでも  
自由な気性と



けして

俺だけに  
向けられるわけ  
ではない  
それらは

どれもが  
好ましくも

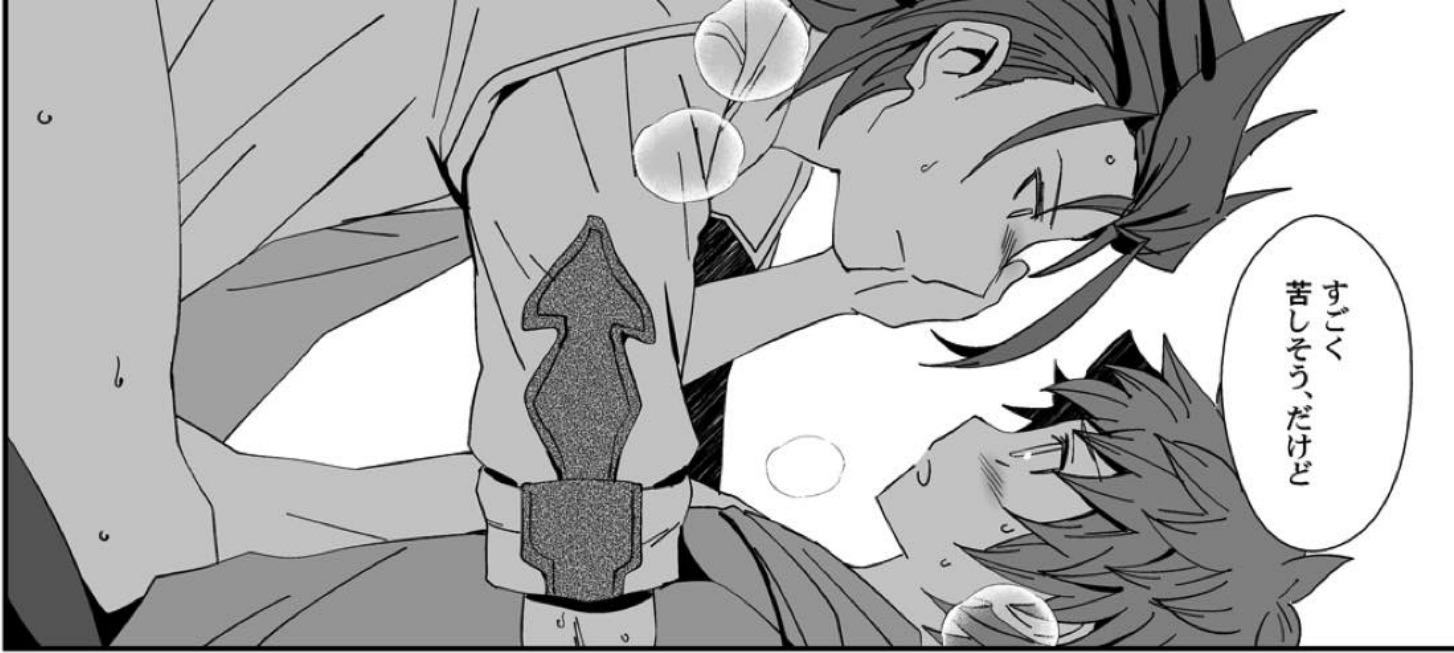


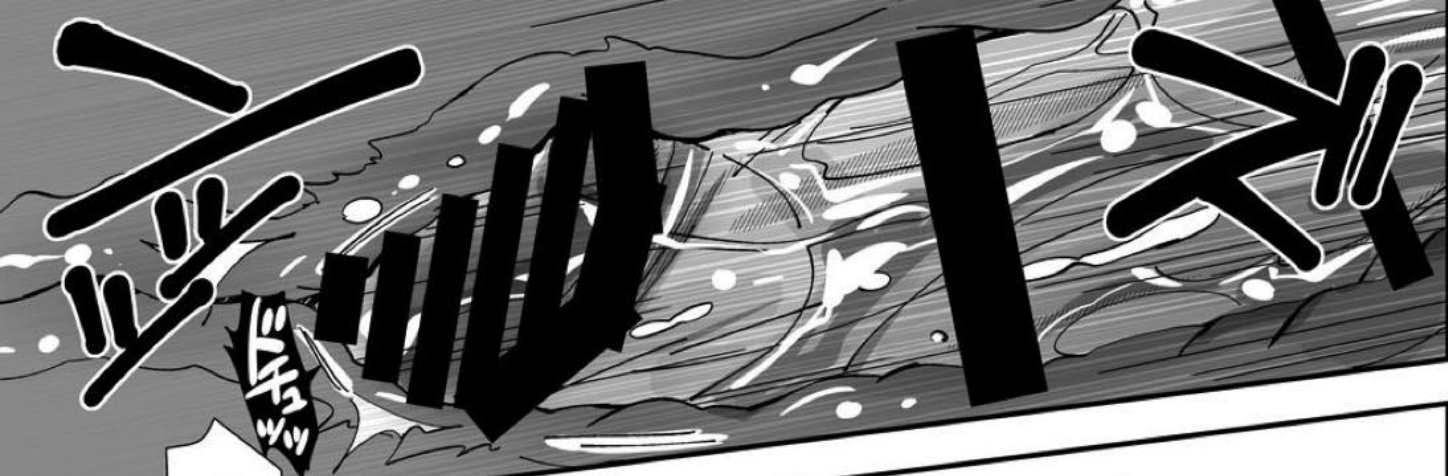
恐ろしい――

パーシヴァル

どうしたの？







ツ……?!









…特別扱いは



それじゃ  
おやすみ!

15/10



明日は!  
しない!

では  
明日は飲んでから  
することにしよう



ああいう時にこそ  
求めて  
欲しいものだがな…

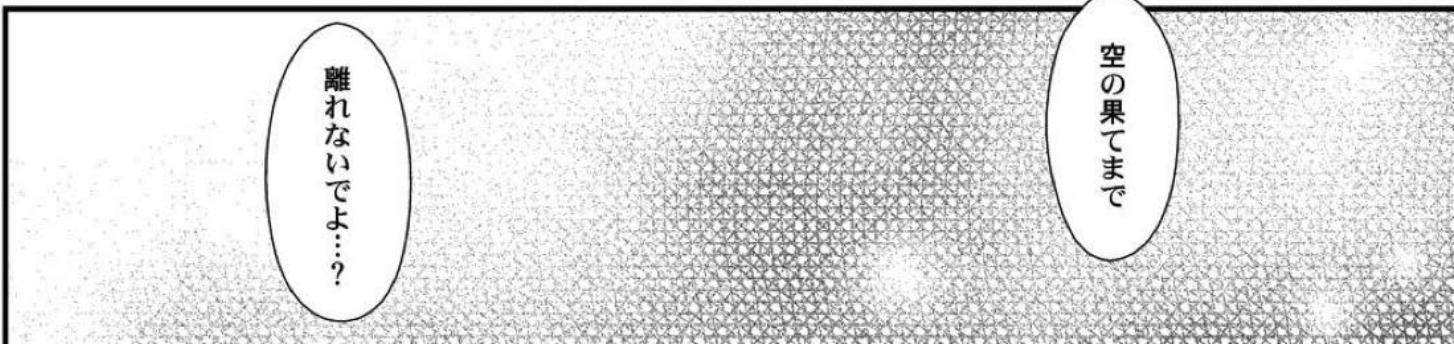


離れるな、って…

は…



…パシヴァルこそ



空の果てまで

離れないでよ…?



团长殿には理解が出来ない

